

足腰らくらく体操教室（介護予防）

日11月17日～3月1日
 金曜日・全12回、午後1時30分～3時
 場堀金公民館講堂
 内膝痛、腰痛予防に効果的な体操を通して、無理なく足腰を鍛えます。
 対おむね65歳以上の市民
 費無料（定20人（抽選））
 申10月24日（火）から27日（金）に電話で
 問高齢者介護課
 Tel 71・2474



市民活動セミナー
Instagram活用セミナー

日①11月11日（土）…アカウント開設から投稿まで
 ②12月16日（土）…有効な情報発信について
 いずれも午後1時30分～3時30分
 場市役所4階大会議室
 講飯田諒さん
 費無料（定30人（先着順））
 申①11月8日（水）、②12月13日（水）までにながの電子申請サービスまたは電話で。単独受講可。
 問市民活動サポートセンター
 Tel 71・2013



豊科高等学校開放講座
 ハードカバー製本

日12月16日（土）
 午前9時～午後0時30分
 場豊科高校美術教室
 講丸山恒治さん（同校職員）
 費5000円（定6人（先着順））
 申11月1日（水）から氏名・電話番号を
 電話（Tel 090・2175・4476）・
 ファクス（Fax 71・1151）・電子メール
 (imatusu@gmail.com) のいずれかで
 問生涯学習課
 Tel 71・2466



イベント

親子で楽しむ三角島探検

万水川・蓼川・欠川に囲まれた三角島を舞台に、親子で地図を片手に探検する謎解きウォークラリーを行います。
 日11月3日（金）※雨天中止
 午前9時30分～11時30分
 費5000円（中学生以下無料）
 定親子15組（先着順）
 申10月23日（月）から31日（火）に電話で
 問観光課 Tel 71・2053



第5回安曇野・クラムザッハ
 友好市民コンサート

チロル音楽や日本の童謡・唱歌、クラシック楽曲の演奏のほか、クラムザッハの風景映像の上映などを行います。
 日11月11日（土）
 午後1時30分～4時頃
 場穂高交流学習センター「みらい」
 多目的交流ホール
 内出演▽アコーディオン奏者・ヤーコブ・シュタインケルナーさん▽バリートン歌手・松島誠治さん▽ジュニアアンサンブル「チロル」ほか
 費無料（定180人（先着順））
 申10月25日（水）午前9時から電話で
 問政策経営課
 Tel 71・2401



あかしの農産物加工交流ひろば
 「えべや」の催し

■体験教室 そば打ち体験（初心者向け）
 日11月15日（水）午前10時～正午
 費2500円（定5人（先着順））
 ■体験教室 野菜漬物体験
 日11月25日（土）午前10時～正午
 費8000円（定10人（先着順））
 ■料理教室 「そばガレット」
 日11月26日（日）午前10時～正午
 費15000円（定10人（先着順））

■共通事項

場えべや 講えべやスタッフ
 特エプロン、マスク、筆記用具など
 申10月24日（火）から「えべや」へ電話で（Tel 88・6275）受付は月曜日を除く午前10時から正午。キャンセルは2日前まで）
 他子ども同伴での参加も可
 問農政課
 Tel 71・2430



人権のつどい
 人間尊重経営と人材育成のしかた

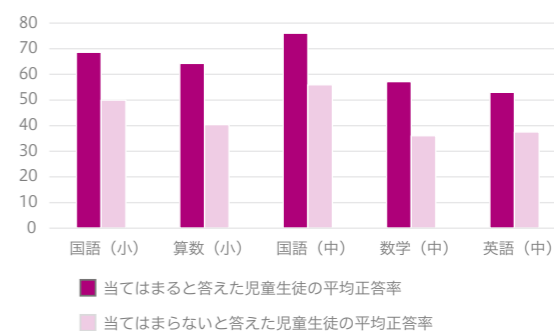
12月4日から10日の人権週間に合わせ講演会を開催します。この機会に人権について考えてみませんか。
 日12月2日（土）午後2時～4時
 場豊科公民館ホール
 講湯本晴彦さん（春蘭の宿さかえや代表取締役）
 表取締役
 費無料
 申11月22日（水）正午までに左記2次元コード・ファクス・電話のいずれかの方法で
 他企業人権啓発講演会を兼ねて開催します。また、同日に全国中学生人権作文コンテスト松本地区大会入選者表彰および作文発表も行います。
 問人権共生課
 Tel 71・2406



令和5年度
 全国学力・学習状況調査の報告

全国学力・学習状況調査が4月18日に市内小・中学校で実施されました。調査対象は小学校6年生と中学校3年生で、教科は国語・算数（数学）・英語（中学3年生のみ）です。市ではこの結果を分析し、授業の改善に活かしていきます。以下は市全体の概要です。
 市の児童生徒の平均正答率は、小学校の国語・算数は県とほぼ同じで全国をやや下回る結果となりました。中学校では、国語・数学・英語とも県・全国を上回る結果となりました。

学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



肯定的な回答が8割程度以上ありました。そうした児童生徒の各教科の正答率が比較的高い傾向にあることから、市の小・中学校で大事にしている「学び合い」の充実が学力向上につながっていると考えられます。
 なお、今回の調査結果には中学校英語の「話すこと」は参考値のため含まれていません。調査結果の詳細は市HP・教育委員会で閲覧できます。



問学校教育課 Tel 71-2461

第7回

小説『安曇野』の登場人物を知ろう！



喜源 治 清 洌

井口喜源治が1898年に創設した私塾「研成義塾」の卒業生の中には、国内外で活躍した人も少なくありません。ジャーナリスト・評論家の清澤洌は、塾OBを代表する一人です。

旧北穂高村（現・安曇野市穂高）に生まれた洌は、13歳で研成義塾に入塾し、3年後の卒業とともに渡米。現地で政治経済学を学び、シアトルとサンフランシスコの邦字新聞社で

記者になりました。10年余の渡米生活を終え、新聞記者を経てフリーの外交評論家としても活躍しました。洌の主張は、平和外交に立脚した経済交易の充実であり、そのための国際理解と協調の重要性でした。日本の対米戦争に警鐘を鳴らし、アメリカとの協調路線を訴え続けました。太平洋戦争開戦から翌年の1942年『戦争日記』と題した日記を書き始めます。戦後に『暗黒日記』として刊行され、戦時下の軍国日本を痛烈に批判した著作として評価されています。そんな洌自身は戦後を見ることなく、1945年5月、病気のため55歳で亡くなりました。

邂逅と対話の安曇野紀行
 「清澤洌の書簡」

先生の教えを守って、どんなことがあろうと、良心だけは失くしてはならないと思っています。そう言って、清沢は枕もとへ坐りこむと、おかしから喜源治の好物だった生菓子の包みをひろげるのであった

（小説『安曇野』第四部 その五より引用）

井口喜源治が創設した研成義塾で学んだ洌は、喜源治を先生と呼んで慕いました。引用部分は病床の喜源治を見舞った場面です。井口喜源治記念館では、洌が友人に宛てて書いた書簡を見ることができま

